

新型スポット溶接機の導入で 新型車に使われる超高張力鋼板の修理が可能に



有限会社美寄車体

📍 新潟県燕市粟生津681-1

☎ 0256-92-6433

■ 自動車整備業

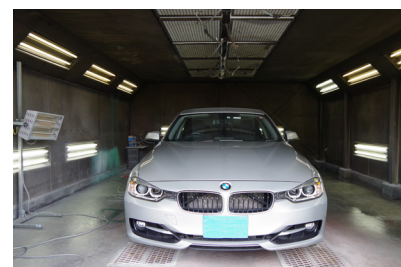


私たちについて

丁寧な仕事と技術が売りの 地域に密着した钣金屋

1982（昭和57）年に創業。もともとは認定整備工場を営業していたが、整備部門と钣金部門を分社化。美寄車体は钣金部門を引き継いだ会社だ。钣金業は事故や老朽化などで変形、変色した自動車のボディを修理する仕事。美寄車体はスタッフの高い技術力を売りに個人客はもちろん地域の整備工場から钣金・修理の依頼を引き受けてきた。

また新車・中古車の販売、自動車保険や車検の請負業務も行うなど、地域密着の自動車钣金工場として営業している。



きっかけ

自動車の車体に使われる 素材が急速に変化

トヨタ・プリウスの登場から2000年代に入るとハイブリットカー（HV）が急速に普及。HVの技術以上に钣金業にとって驚きだったのは新型車の骨格部材に使われるようになった『超高張力鋼板』の登場だった。一般的な鋼板に比べ4～5倍



の引張強度があり、車体の軽量化や、乗車者の安全性が著しく向上。一方で、従来用いていた溶接機では電流不足により溶接ができず、損傷した場合に钣金することが困難に。修理するには溶接以外の作業が必要でタイムロスが生じていた。



取組の内容

メーカーの基準を満たした 新型スポット溶接機を導入

『超高張力鋼板』は新型車には必ず使われている素材。いずれ対応が不可欠ということもあり、ものづくり補助金を活用し新素材を溶接できるスポット溶接機を導入。これまでは、手持ちの溶接機は電流不足のため、修理にはドリルやサンダー等を用いた別作業が必要だった。新型スポット溶接機を使えば直接溶接がで

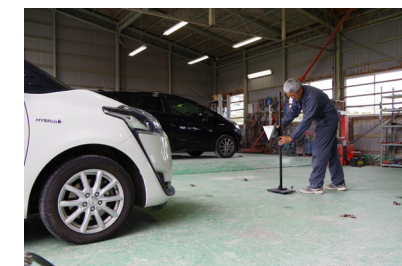
きるため別作業は不要となり、作業時間も5分の1程度まで短縮。納期の遅延がなくなった。また、超高張力鋼板素材の強度を損なわずに修理できるため、安全性も向上した。

短縮した作業時間でこれまで断っていた修理の仕事を引き受けたり、中古車の仕入れ販売にも時間をかけられるようになった。

その後の展開

生き残りをかけて、 新しい安全基準に積極対応

自動車の技術革新は日進月歩。特に安全に関する基準は厳格化され続け、地域の钣金業はその流れにしっかりと対応していかなければ、生き残ることが難しくなっている。新型スポット溶接への対応はその



一つであり、顧客の安心感にもつながっている。美寄車体では、他にもイタリア製のフレーム修正機『グローバルジグ』を導入。事故などで損傷が出た自動車のフレームの歪みを1mm単位で修正できるようになった。また、自動車にセンサー機能が次々と搭載される中、その調整に不可欠な『レーダーエーミングツール』なども導入した。



高度化する自動車技術に合わせ、行政も自動車の整備・修理を担う事業者を認証する動きもある。業界全体が変革する中で、美寄車体は先手をとった対応をしていると言える。今後は、自社の設備の充実をアピールポイントに、燕市に限らず、新潟市、西蒲区、三条市、長岡市など営業エリアを広げながら顧客の開拓を目指していく。

message

電気自動車、自動運転車の開発など自動車業界はまさに大変革の時代です。その中で生き残るために、常に情報を仕入れながら安全を追い求めています。

代表取締役 小島 英之 氏

